

農学研究科

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

農学研究科は、時代の要請に応じて充実・強化の道を歩み、現在は「生物生産学専攻」、「生物資源学専攻」及び「生物環境学専攻」の3専攻によって構成されています。

農学研究科は、農学を持つ多面性と専門性に対応できる複眼的で総合的な判断力やバランス感覚を有する人材を育成するとともに、多様化・複雑化した社会の要請に対応できる高度な専門的知識と技術を有し、研究、調査、開発といった創造的な事業に従事するための実践的な能力を有する高度な専門人材の育成を目指しています。

また、農学研究科の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

各専門分野や学際領域の研究の発展・深化、さらには多様化・複雑化する社会の要請に対応するため、さらに高い専門的知識を得ようとする人材を求めています。

以上のような観点から各専攻では、次のような学生を求めています。

修士課程

（生物生産学専攻）

生物生産学専攻は、技術者や研究者を中心に、多くの有益な人材を輩出してきました。本専攻は、安全な農畜産物の持続的生産やそれを担う農業経営、地域の活性化等の研究領域においてより高度な知識を修めるとともに、実践的な能力を養うため、指導教員による個別指導やフィールドワーク等を軸としたきめ細やかなプログラムを展開しています。

また、生物生産学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 知的好奇心が旺盛で実験や研究・調査が好きな人
- フィールドを通じて体得した環境保全型生物生産や限られた資源を活かす食農環境マネジメントに関する基礎的な知識をさらに深めたいと思う人
- 地域貢献や国際貢献について理解と意欲がある人

（生物資源学専攻）

生物資源学専攻は、食品・応用生命科学コースと植物機能開発学コースの2コースから構成され、各コースと専門分野において、微生物・動物・植物等の生物資源を対象とし、バイオテクノロジー等の先端的手法を駆使した開発・改良と有効利用について専門的な教育・研究を行っています。

また、地域社会や国際社会における諸問題を解決し、人類社会の進歩と福祉に貢献できる独創的な科学技術開発を担う研究者や技術者を養成するため、各指導教員による個別指導を軸としたきめ細やかなプログラムを展開しています。

生物資源学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 生命現象の解明、バイオテクノロジーなどの新技術や応用に興味のある人
- 有用な生物資源の開発と改良、生物による環境浄化、食物の品質保持や健康機能性の解明やその応用に興味のある人
- 探求心を持ち、物事に自発的、積極的に取り組む人

（生物環境学専攻）

生物環境学専攻は、技術者や研究者を中心に、多くの有益な人材を輩出してきました。

本専攻は、各専門分野におけるより高度な知識を修めるとともに研究、調査、開発といった創造的な事業に従事する上での実践的な能力を養うため、指導教員による個別指導を軸としたきめ細やかなプログラムを展開しています。

また、生物環境学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 問題解決のために自発的な行動を実践してみたい人
- 討論を通じて自己表現を実践してみたい人
- 身につけた問題解決プロセスを社会に還元したいと考えている人